



Architecture  
Presentasion

---

architect  
Tsutomu Hasebe

---

Bauhaus. Project

H.A.S.market



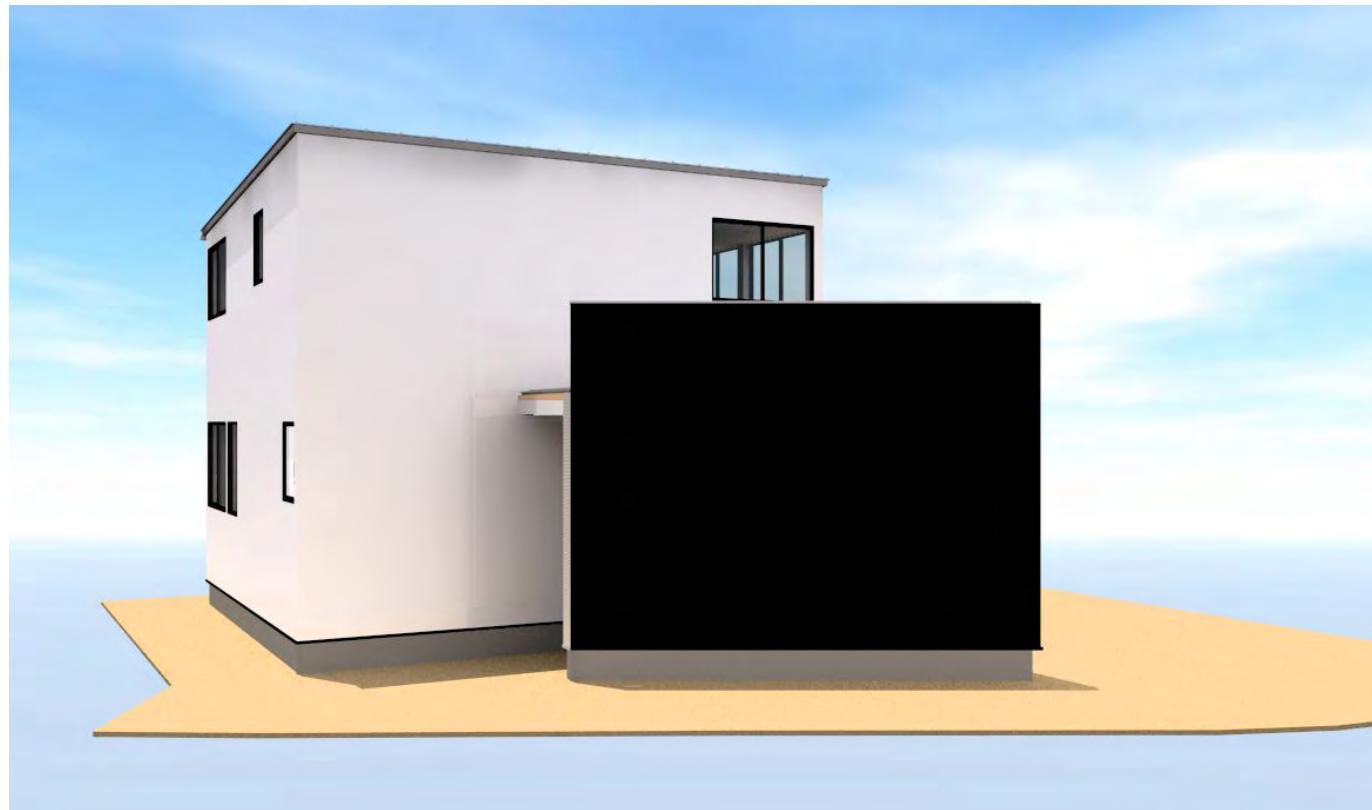
建築家と建てる家を、  
身近に、手軽に



R+house



BAUHAUS.  
The Bauhaus satisfies the function,  
and it's strong and an cheap and there should be it beautiful.





## 担当建築家

# 長谷部 勉

Tsutomu Hasebe

有限会社 H.A.S.Market@東京

## 豊かで快適な家づくりを心がけています。

情報やイメージを共有しながら、ひとりよがりにならない設計プロセスを踏むことを大切にしています。

いかなる問題にも妥協することなく、効果的な解決策を見出しながら価値のある家づくりを続けたいと思っています。

### Profile

1968年	山梨県生まれ
1991年	東洋大学工学部建築学科 卒業
1991年	堀池秀人都市・建築研究所 入所
2000年	株式会社服部建築計画研究所 入所
2002年	I.B.S.ARCHITECTS 参画
2002年	H.A.S.Market 設立
2005年	日本フードアナリスト協会 評議委員
2006年	東洋大学 非常勤講師
2014年	建築家住宅の会 理事

# デザインの素晴らしい&長持ちするデザイン

今の日本の住宅の寿命は約30年というのが普通です。

ちなみに、アメリカでは70～100年以上、イギリスでは100～120年以上。

建物の設計や住まい方次第で、家の寿命を延ばすことは可能なんです。

日本と欧米、なぜこんなに違いがあるのか？

欧米では、ライフスタイルに合わせ自由に変更できる家なので、

お金あまりかけずに、生活に合った良い暮らしをしたり、子どもの世代に受け継いだり・・・

そんな良い循環ができているので建物の寿命が長いのです。

実際に、何十年も前にデザインされた建築や家具が今の時代でも愛され続け、

価値のあるものとして受け継がれています。



1904年  
バレルチェア



1920年代  
LC2/LC3 ソファ



1929年  
バルセロナチェア

近代建築の三大巨匠

►ミース・ファン・デル・ローエ  
1931年 サヴォア邸



►フランク・ロイド・ライト  
1936年 落水荘



►ル・コルビュジェ  
1951年 ファンズワース邸



# 建築家の高度な設計スキル

お客様のライフスタイルにあった設計をする上で重要なことのひとつに

『動線』を考慮することがあります。

動線とは、家の中を自然に動くときによく通る通路のこと。

普段の生活で朝の忙しい時間帯や、夜の家族でくつろぐ時間帯での

動線、炊事・洗濯・取り入れ・お風呂・就寝の準備など

家事をする時の動線、来客があるときの動線など、その家族に合った

動線を計画する必要があります。

## お父さんの部屋

お母さま様にご指示いただいたように南東に配置し、南側の窓は  
開け出しています。またLDKへ行く用口、さあお掃除と行き来する用口は不便ないように南側のどちら引き戸にしてあることをご指示下さい。  
さあお掃除用口はどこで行きたいと考えてみらばよもが、どこ多くが南側の、  
どちらが北側の反対を確保しまよ」ということに悩んでしまはばどんな  
感じになりますが、今が把握してあいた方が良いと思いまして、一度ある  
種類の配置(みまお)。介護用には、バッケンも置くなども置いています。  
お掃除は裏門などが、ソフセットのテーブルは、かなり狭くあるので  
置くのが苦いのかと...みはせ。ソフセットハイズもこのように置くと、  
BOXが置けなくなります。参考にして下さい。

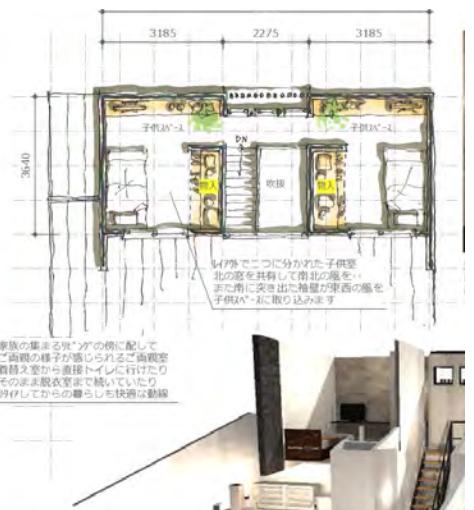
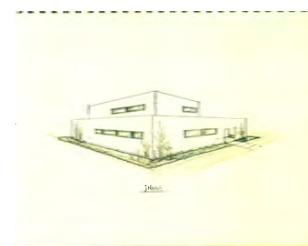
## お母さんの部屋・押入れ

さあお母様の部屋は配置してあります。黄色い部分は、LDK(廊下)への用口、さあお母様の部屋の用口(黄色い部分)は、  
南側の用口になる引き戸にしてあります。ご安心ください。またご添間(せんまん)は  
いたために、またお手洗いも置くところは、井戸戸にしてあります。お2人の寝具を(ぬくぬく  
お手洗い)の押入れ、も、丁度良い位置で確保できています。あれは、今  
さあお母様が置くといふ場合、お手洗いも置く構造では、このよう配置に  
なるのがなよと書いてあります。参考にして下さい。

お母様は、毎日の負担が減るよう、WCを一番近くにするようにしました。  
少しでもラクしい生活を目指します。

## 全体の配置について

さあお母様は、LDKと他の部屋とのアクセスを日々の生活の  
都合(すうごう)で考えました。お母様は、大切にしあらはる和室の考え方をきちんと  
成り立つように...。(ご)です。■様御家族が安心して快適に暮らして  
いけるよう想いを込めて計画させていただきました。



# 敷地を読む

樹木は同じ種類でも同じ形のものは一つもありません、枝ぶりも違う。  
それは生えている場所が違うからです。  
住宅も同じです。敷地に溶け込むデザイン、自然の風・光を利用する  
デザインになるべきなのです。  
建築家は、まず敷地を見て、その中でお客様の要望を入れて  
全体的にデザインしていきます。



建築家 藤本誠生建築設計事務所@熊本 藤本誠生



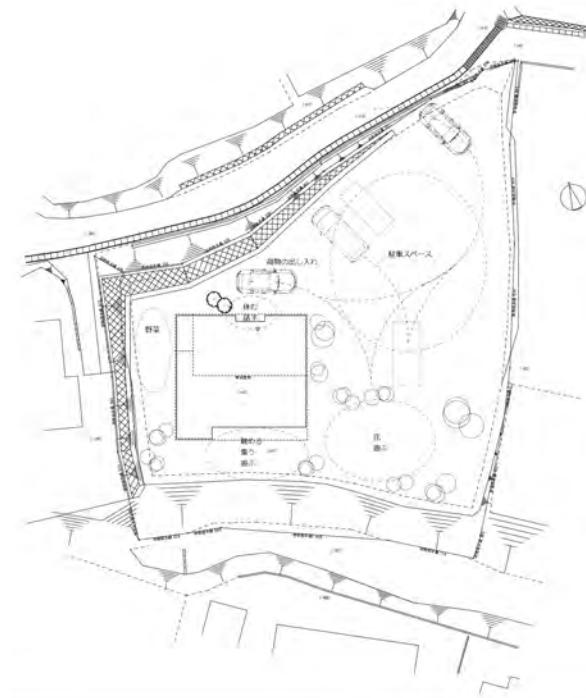
建築家 スギハラ建築設計事務所@広島 杉原豊実



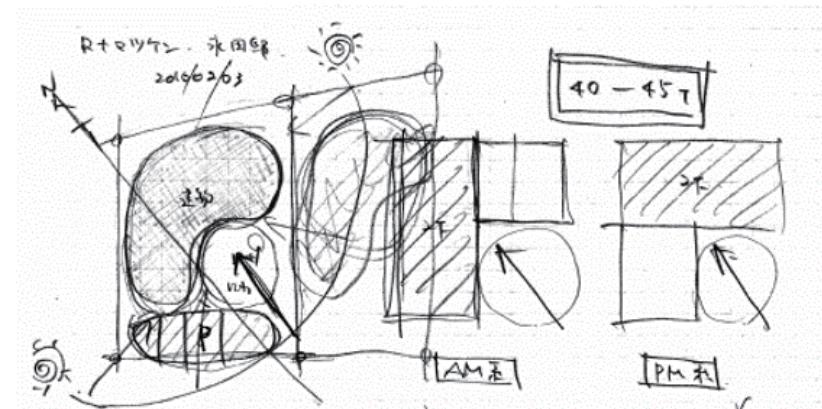
建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎  
2019/03/1



建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎



光・風・周辺の交通量・車が多いか・  
人が良く通るか・昼夜のギャップ・隣家と距離感・  
隣家の窓・玄関位置・どんな部屋なのか土地の  
個性を考え、間取りや窓の位置は必ずその敷地に  
合わせて作りこまれています。



# ヒアリング力と提案力

建築家と住宅会社の設計担当者とでは、家づくりに対するアプローチが全く違います。

例えば・・・・

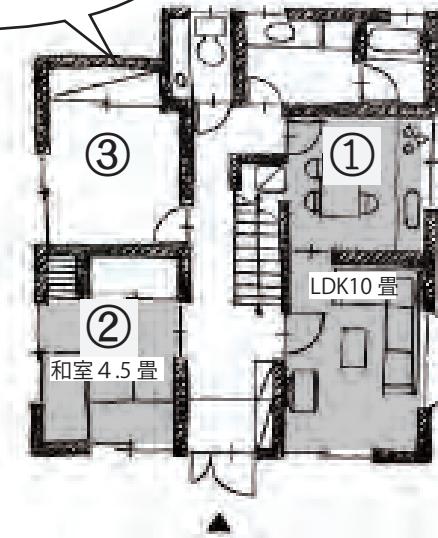
LDKは何畳欲しいですか？  
和室は何畳欲しいですか？

①リビングとダイニングは分けて全部で  
12畳くらい欲しいです！

③洋室も1つ欲しいな

②和室は5畳あるといいなあ・・・・！

空間の寄せ集めプラン



一見、要望を聞いてくれて反映させてくれているように感じますが、  
これは要望をパズルのように当てはめただけの【空間の寄せ集め】になります。  
それは、本当にお客様にとって最適な間取りなのでしょうか？

建築家は、こう聞きます。

「目をつぶって想像してください。建てた家で何をしている光景ですか？」

その答えが、一番やりたいことです。そのライフスタイルを実現してくれるのが建築家。  
簡単にヒアリングされて出てきた間取りと、しっかりヒアリングされプロの建築家の知恵が反映された  
結果とは違います。



さあ、建築家の提案を見てみましょう→

# block planning

## 配置計画

## 建築家の解決ポイント①

交通量の多い道路が北側にある為、プライバシー性を考慮し、建物を道路から離して配置。更に北側には壁も建てて玄関を隠した。樹木を植えると、目隠しにもなるし雰囲気も出るのでおすすめ。

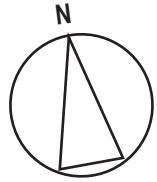
# 空き地

## 建築家の解決ポイント②

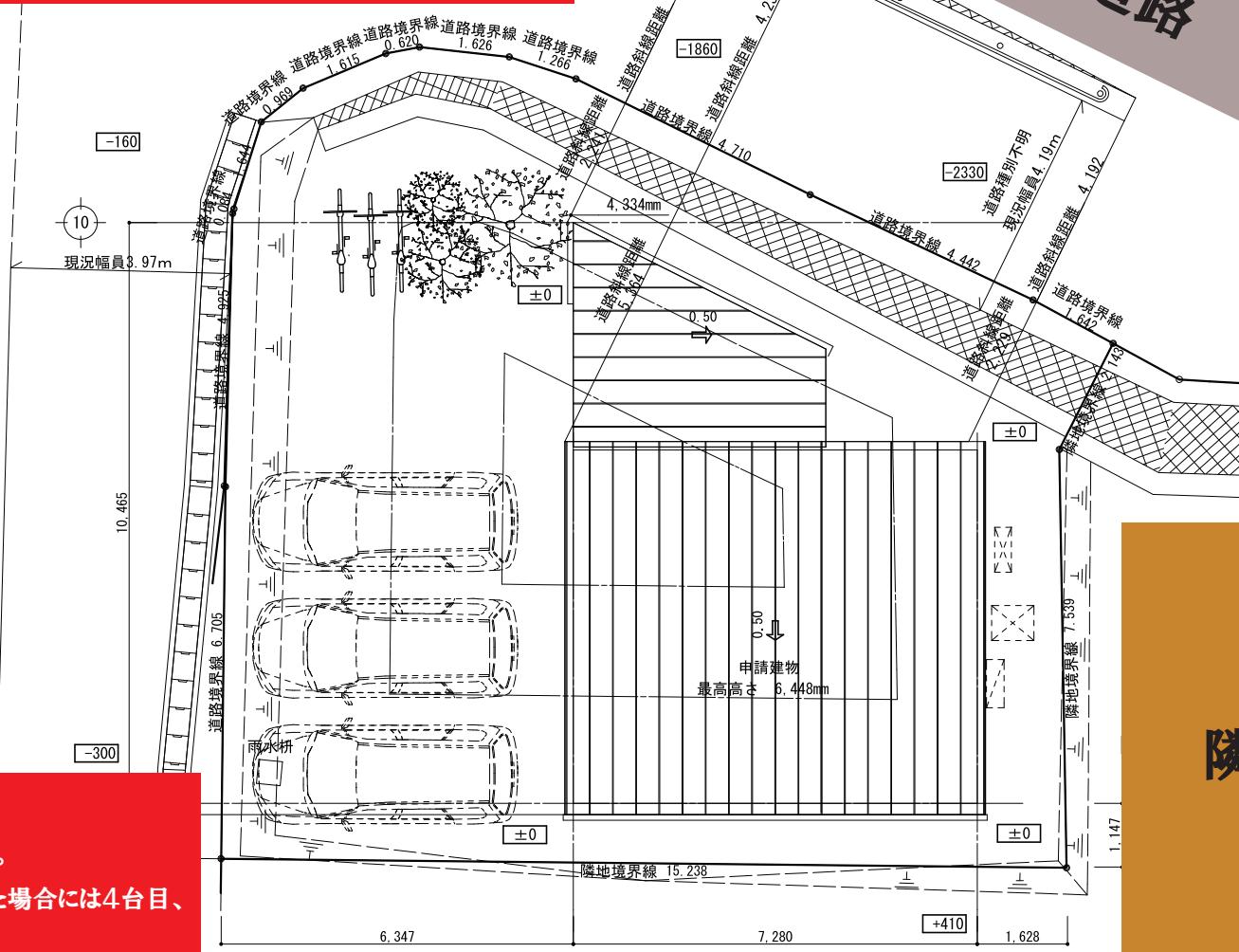
駐車スペースは並列で3台分確保。

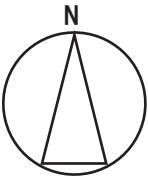
来客時や将来お子様が車を所有した場合には4台目、  
庭を無くせば5台目も可能。

# 交通量の多い道路



## 隣地



1st  
f l o o r

玄関はベビーカーや主人のゴルフバッグなどでごちゃごちゃしてしまうので、出来れば家族用と来客用で分けたいな～



玄関を2つになると、コストもかかるし、スペースも必要なので面積効率が悪くなってしまいます。 そうなるともったいないので、玄関を広めに2畳分とり、大容量のシューズクローゼット、更に外の壁を利用した外部収納も設けました。 これだけの大収納があれば、いつでも玄関をすっきりさせられるはずです。



収納はとにかくたくさん欲しい！！  
見える収納ではなく、なるべく隠したい！！



階段下も収納に利用し、各部屋にそれぞれ収納を設けました。あんまり収納…収納…となってしまうと、収納スペースがメインになってしまい、生活スペースが限られてきてしまうので、最低限にしていますが、お持ちの荷物量には十分だと思いますよ！



雨の日でも気にせず、バーベキューができると嬉しいなあ



玄関ポーチに目隠しの壁を使って屋根を設けましょう。 そうすれば、雨の日でもここでバーベキューが可能です。 そんなに広くはありませんが、周りの視線も気にせず楽しめますよ！



今はまだ子どもが小さく、手がかかる  
ので毎日大忙しで…

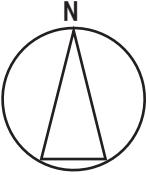


脱衣室と洗面室を別にして、それぞれ広めに設けました。 脱衣室では「洗濯→干す→畳む→片付ける→着る」が全てできます。洗面室が別にあると、来客にも気兼ねなく使ってもらえますし、広いので、将来お嬢様と奥様が同時に使うようになっても不自由なく使えるはずです。



わあ～！家事を時短できそうで嬉しいです！！  
洗面室のカウンターアンダーライフにタオル類とかが収納できそうで助かる！





漠然とですが、家は明るくて開放感があるといいなあって考えています。



敷地を見てすぐ、2階リビングがいい！！と感じました。

高台にあり、西側が開けているので、明るくて開放感のある家が叶います。

キッチンに立っていても、リビングのソファからでもいつでも窓の外を感じられます。

晴れてるなあ～、雨が降ってきた、日が暮れてきた、虹が出てる…とても素敵だと思います。

周りからの視線はかわせますので、カーテンを開けて過ごせます。

外へ視線が抜けることで、リビングがより広く感じられるんですよ！

お子様が小学生のうちは、リビングでも宿題や勉強ができるように、カウンターを設けています。

奥様のワークスペースとしてもぜひ活用されてください。



2階にリビングで子供部屋は1階となると、子どもの様子が伺いにくくて少し心配です。



プラン上、子供部屋、主寝室と名前を付けていますが、もちろんどんなふうに使っていただいても構いません。

お子様が小さいうちは、みんなで寝る→お子様が少し大きくなったら兄妹で寝る→それぞれの個室が必要になる→進学や結婚で家を出る…家族の生活スタイルは変化するものですから、自由に使って下さい。

どの部屋にもあまり差をつけずにプランを作っていますので、どんな生活スタイルになっても対応できますよ。



両親が遠方にいて、遊びに来る時は泊まりになるのでゲストルームも必要かな～



ゲストルームをリビング横に配置してみました。  
ゲストルームとリビングの間の壁は無くして、リビングを広く見せることも可能ですが、ゆくゆくは同居の可能性もあるとの事だったので、お互いに気を遣わなくていいようにきっちり仕切りました。

普段は、ご主人の書斎として使われてはいかがですか？



すごく良いですね！！

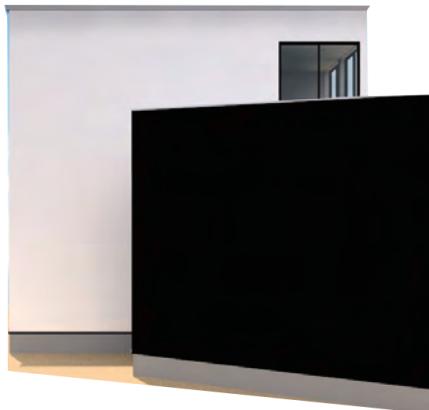
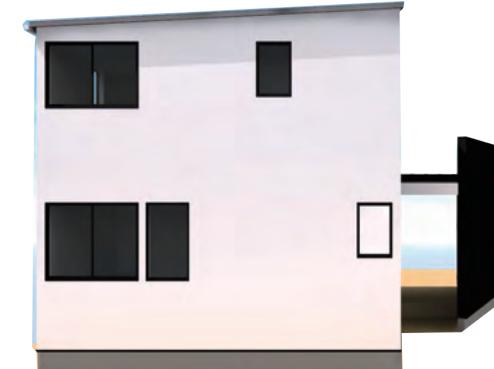




南側：すぐ隣りが他の分譲地だったため、後に家が建つことが想像される。そうなった時のプライバシー性を考慮し、窓は最小限に配置した。



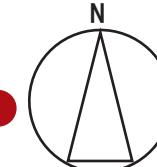
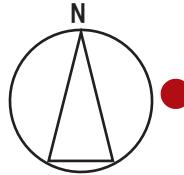
東側：隣りの分譲地に面してはいるものの、通路として使われるぐらいの幅しかないので、朝日を感じて起きられるよう、居室には窓を配置。建物の美しさを保つため、室外機などの外部設備は、建物の裏側になるこちら側に設置する。



北側：高台とはいえ、交通量の多い道路に面しているので、窓は最小限に配置。  
建物と目隠しの壁の色のコントラストが美しい。



西側：土地が開けているので、窓を最大限に配置し、室内からの開放感を演出。  
窓を水平に並べることで建物がより美しくなる。



# 熊本風配図

・・・とは、ある場所における一定期間の風向の頻度を八方位もしくは一六方位に分けて表し、同時に各風向きの平均風速をも示したもの。

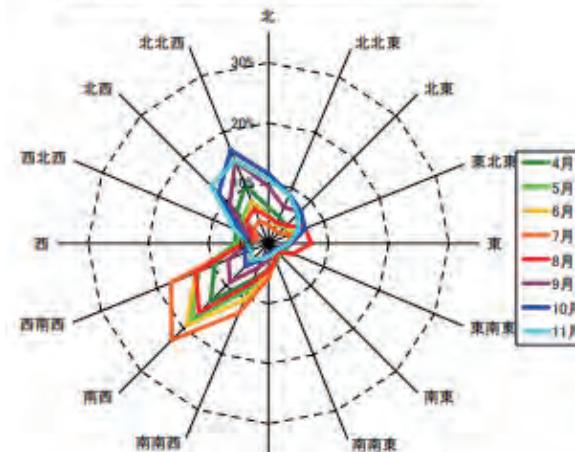


図4a 月別風配図(起居時)

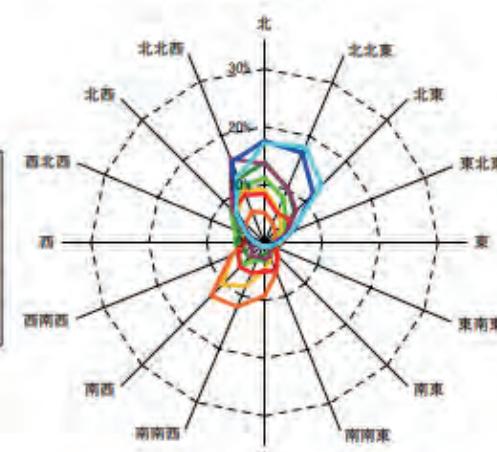


図4b 月別風配図(就寝時)

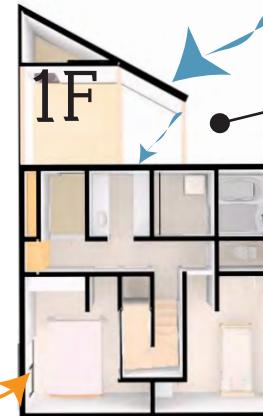
1F

起床時



南西からの風を取り入れ、  
北東に抜けるような窓の配置。

2F



就寝時

北東から吹く強めの風を目隠しの  
壁で防ぎつつ、室内へ取り入れる。

2F

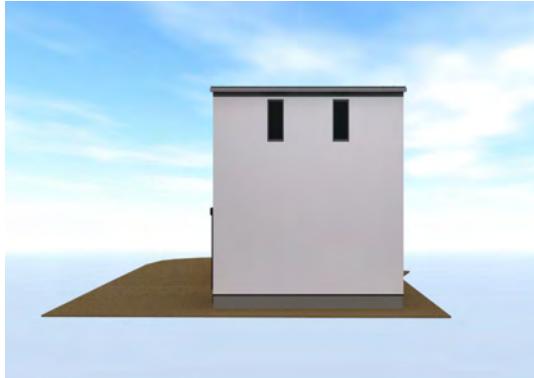


夏は、風が弱いが、効率的に風を  
取り込めるような窓の配置になっている。

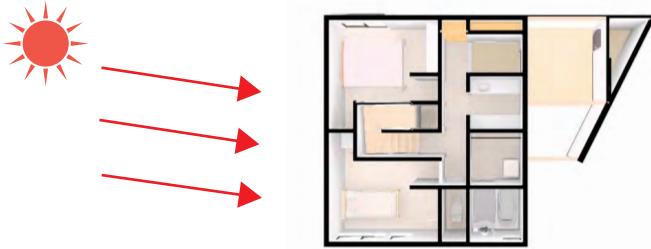


冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく  
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

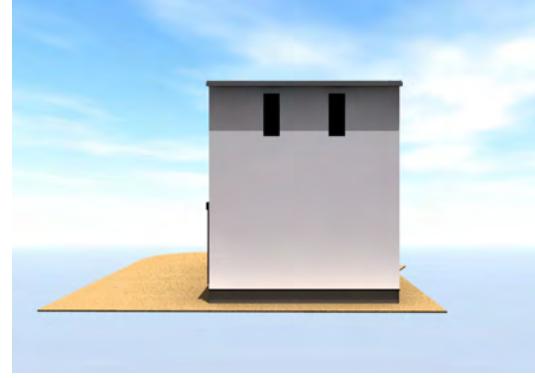
真冬午後12時



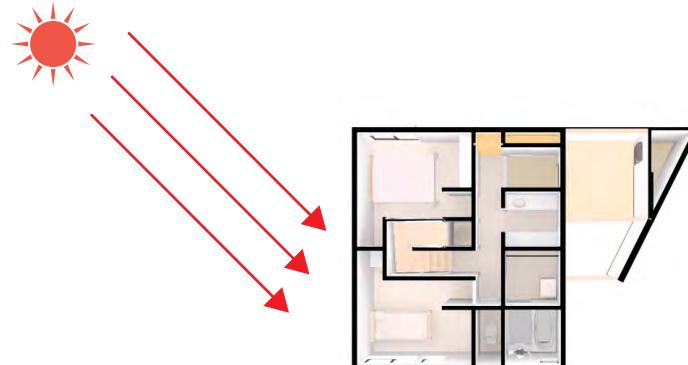
(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。



真夏午後12時



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、軒を出して日射を遮り、室温の上昇を抑える。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。